しらかみ
白神山地を背に営む農業と生活の応援団
March 2025
vol.317

Contents

02 特集 農産物84.5億円販売達成へ決意新たに! ～農畜産物生産者大会～
06 あきた白神トピックス
08 地域のきずな ～女性部活動～
10 営農情報 ～稲作・畑作～
12 おはよう元気！朝食ルーティン
14 能代科学技術高校リポート
15 福祉介護課だより
16 おたより・クロスワード
17 食卓を彩る　旬のレシピ
18 JAあきた白神からのお知らせ

特集

農畜産物84.5億円販売達成へ決意新たに！

～農畜産物生産者大会～

農畜産物生産者大会が3月4日、プラザ都で開催され、優良生産者を表彰したほか、来年度販売計画の84億5910万円の達成に向け、生産者の力を集結することを確認しました。

令和6年度の農畜産物販売見込み額は、計画対比109・4％の68億2675万円となり、各販売見込み額は米穀・種子籾が40億9145万円（計画対比114・3％）、大豆・そばが1億1212万円（同100・7％）、青果物が24億8993万円（同102・7％）、畜産物が1億3324万円（同102・3％）となっております。

大会には生産者やJA役職員、行政関係機関、市場関係者など来賓を合わせ約160人が出席。

あいさつに立った工藤組合長は「白神農畜産物をアピールしながら、地域農業の発展と後継者が安心できる持続可能な所得の確保にむけ全力で取り組む。JAの総合事業を生かし、地域農業の振興を最優先に行い、農家所得の向上に努める」と述べました。生産者代表であいさつした青果物生産振興連絡協議会の畑山悦雄会長は主要品目の販売実績を踏まえ、更なる収量、品質向上を呼び掛けました。

大会宣言では▽日本の食を守るため、関係機関一丸となって農畜産物の生産振興を図り、期待と信頼に応える産地づくりに努めよう▽他産地に勝る高品質な農畜産物の出荷と、天候に左右されない生産技術確立による有利販売を勝ち取ろう▽生産者の力を集結し、令和7年度の農畜産物販売高84億5910万円を確実に達成しよう―など5項目を盛り込んだ大会宣言を、満場の拍手で採択しました。

参加者らは次年度へ向けてさらなる生産・販売意欲を高め合い、令和7年度の農畜産物販売高目標の確実な達成を誓い合いました。

表彰された優良生産者・団体は次ページで紹介しております。

最優秀賞の秋田県山本地域振興局長を受賞した「白神ねぎ部会」

青果物計

6年度見込み	24億8,993万円
7年度計画	25億1,052万円

※青果物内訳

品目	6年度見込み	7年度計画
白神ねぎ	22億2,478万円	22億6,145万円
白神山うど	4,878万円	5,058万円
白神みょうが	1,807万円	1,822万円
白神きゃべつ	1億132万円	8,269万円
アスパラガス	1,155万円	1,691万円
その他	8,542万円	8,060万円

農畜産物販売見込および7年度計画

6年度見込み	68億2,675万円
7年度計画	84億5,910万円

米穀類計（米・大豆・そば等）

6年度見込み	42億357万円
7年度計画	58億2,381万円

畜産物計（肉牛・子牛・牛乳・食鳥）

6年度見込み	1億3,324万円
7年度計画	1億2,476万円

「白神山うど」共進会 ～最優秀賞に山崎さん～

最優秀賞を受賞した山崎さんの『白神山うど』

収穫盛期の「白神山うど」の出来栄えを競う、山うど共進会が3月3日開催され、共進会に出品された山ウドが農畜産部生産者大会会場で展示されました。

今回で26回目となる山うど共進会には、各生産者から11点の秀逸な「白神山うど」が出陳され、会場では生産者大会参加者が関心を寄せておりました。

共進会の入賞者は次のとおりです。

▽最優秀賞＝山崎　金作
▽優秀賞＝伊藤　秀司
　桜田　和浩

《表紙紹介》
白神山うどの収穫風景
（二ツ井・鬼っ子ファームにて）

特集

農畜産物84・5億円販売達成へ 決意新たに！

令和6年度 優良生産者 表彰受賞者紹介

これまでの御功績が称えられ受賞された皆様におかれましては誠におめでとうございます。今後とも、地域農業の模範として、より一層のご活躍を期待します。

最優秀賞 秋田県山本地域振興局長賞

JAあきた白神ねぎ部会 様

令和元年から販売額20億円を目標に掲げた「白神ねぎ」20億円販売達成プロジェクトチームを立ち上げ事業に取り組んできた。長年にわたり培われてきた技術・知識を生かし、機械化一貫体系や周年出荷体制を確立させ、更なる作付面積の拡大を実現させた。特に、部会を中心とした抜き打ち品質検査を継続実施したことで、品質の底上げにつながり、ロットの確保と販売単価の向上に貢献している。この度、目標の販売額20億円を12月に達成、秋田県全体での販売額30億円達成についても「白神ねぎ」が大きく貢献した。

最優秀賞 能 代 市 長 賞

佐 藤 晴 樹 様（能代市吹越）

ねぎ、きゃべつ、水稲の複合経営に取り組み、リスク分散を図っている。肥培管理・栽培管理技術に優れ、出荷される農産物についても優れた品質が評価されている。新規就農を目指す若手の研修先として、栽培技術や経営ノウハウを伝授しながら、独立就農を全面的に支援し、「白神ねぎ」の更なる生産振興に貢献している。地域農業の担い手として、効率的、持続可能な農業の実践に取組んでおり、管内複合経営農家の指標となる経営体となっている。

最優秀賞 藤 里 町 長 賞

株式会社Nラッシュ 様（藤里町）

藤里町初となるメガ団地等大規模園芸拠点育成事業サテライト型団地として、ねぎ＋山うどの畑作を中心に取り組んでいる。藤里町産の牛糞堆肥を活用した地域循環型農業に取り組み、緑肥の導入など土壌改良にも意欲的である。ねぎの生産を通して地域の雇用創出を実践し、更には掘り取り体験会を企画するなど地域農業の活性化に貢献している。今後の地域農業の主要な担い手となることが期待される。

白神アスパラガス

優秀賞 あきた白神農業協同組合組合長賞

安 保 広 政 様（藤里町）

地域の担い手として圃場の集約を一手に引き受け、大規模経営を実践している。また、稲作部会の支部役員として、展示圃の設置や農薬・資材の試験等へ積極的に協力している他、独自に小学校を対象とした農業体験学習を行いながら地域農業の活性化に貢献している。米の出荷数量や購買事業の利用実績もＪＡトップクラスである。

優秀賞 あきた白神農業協同組合組合長賞

原 田 聡 様（能代市黒岡）

父親から経営移譲し、兼業農家でありながら大規模経営を実践。病害虫防除等にドローンを導入し、徹底した管理を実施することで品質向上に努めている。米穀販売額はＪＡ管内トップの実績を誇り、経営面積と出荷量から計上した単収は９俵以上を確保している。地域農業の担い手として、農地集積を図り、効率的かつ持続可能な農業を実践しており、管内稲作農家の指標となる経営体。

白神きゃべつ

白神山うど

優秀賞 全農秋田県本部長賞

大 谷 文 平 様（能代市栗山）

令和２年より父親から経営移譲され、搾乳牛および育成牛や子牛を多数飼育し、令和６年度の牛乳販売額はＪＡ管内トップとなっている。適正管理により安定した品質と乳量を確保している。配合飼料や燃料の高騰により経営圧迫が深刻な状況下で、河川敷や転作田を活用した粗飼料自給率100%以上を確保することで低コスト化を実現させており、畜産経営の模範的存在である。

優秀賞 あきた白神農業協同組合組合長賞

原 田 聡 様（能代市黒岡）

父親から経営移譲し、兼業農家でありながら大規模経営を実践。病害虫防除等にドローンを導入し、徹底した管理を実施することで品質向上に努めている。米穀販売額はＪＡ管内トップの実績を誇り、経営面積と出荷量から計上した単収は９俵以上を確保している。地域農業の担い手として、農地集積を図り、効率的かつ持続可能な農業を実践しており、管内稲作農家の指標となる経営体。